「顧客王」情報を地図表示する方法

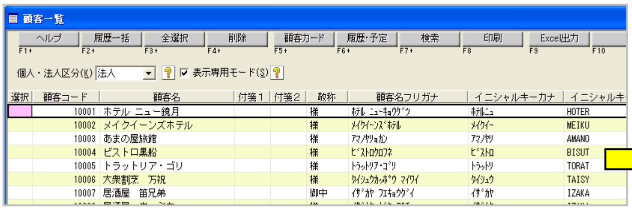
2020/05/30現在

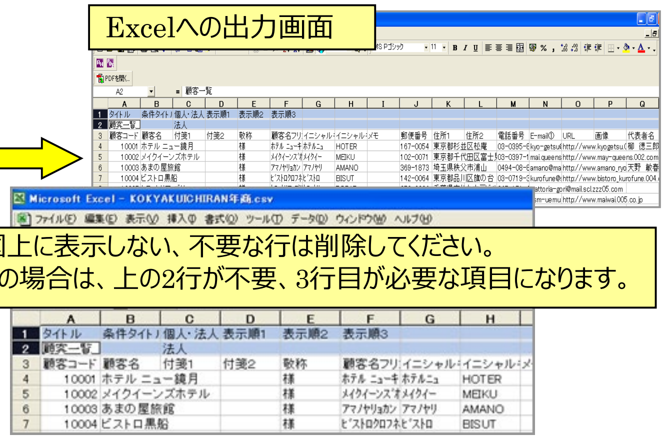
A:顧客の位置を地図上に表示する方法

① 顧客王の顧客一覧を選択します。



② 顧客王の顧客一覧を「Excel」のCSVで出力します。

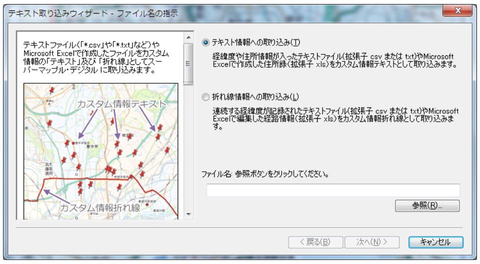




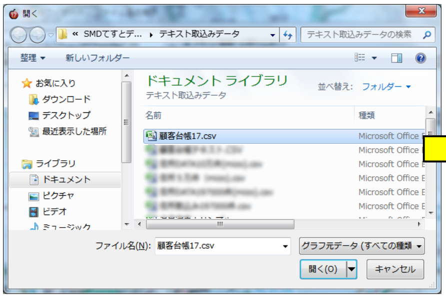
項目設定時のポイント：地図上に表示しない、不要な行は削除してください。
下図の場合は、上の2行が不要、3行目が必要な項目になります。

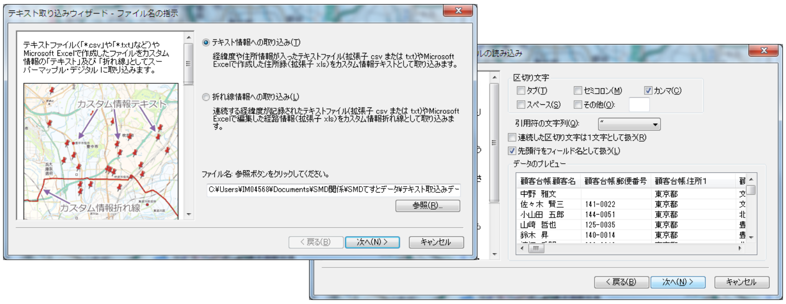
③ スーパーマップルデジタルを起動し、「取込」タブの「テキスト」をクリック。「テキスト情報への取り込み」を選択します。



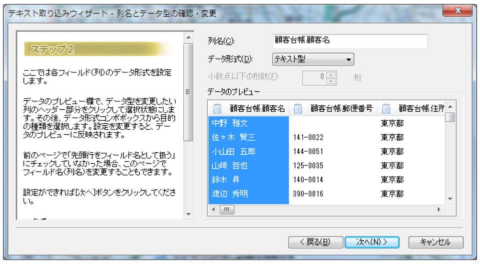


④ Excelに出力されたファイルを選択し［開く］→［次へ］をクリックすると、データが取り込まれます。

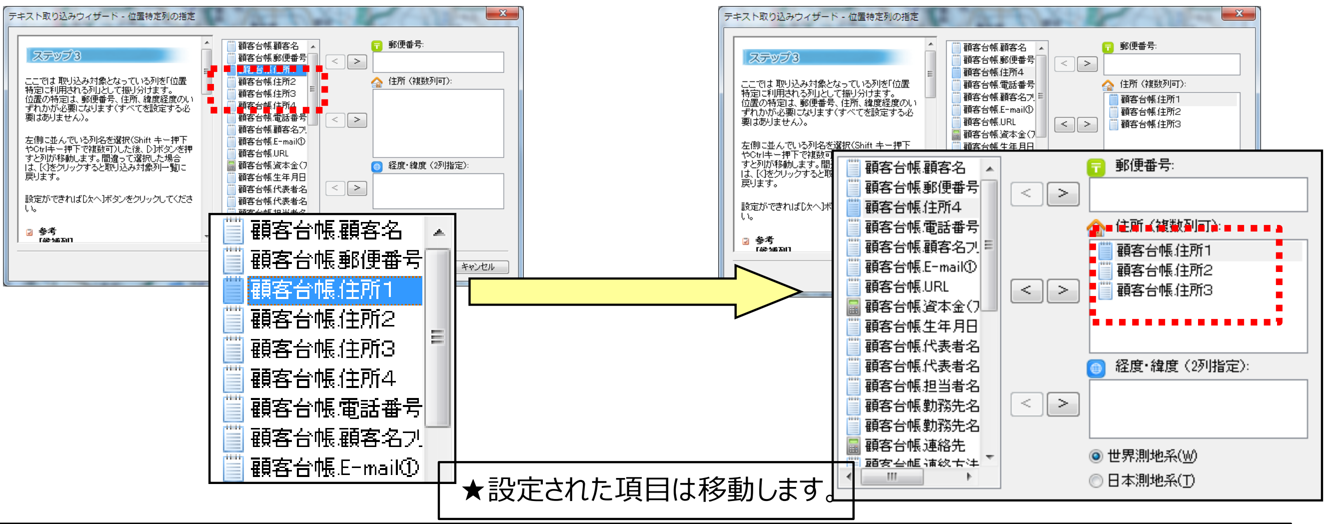




⑤［ステップ2］は、各列（項目名）のデータ形式の確認をします。

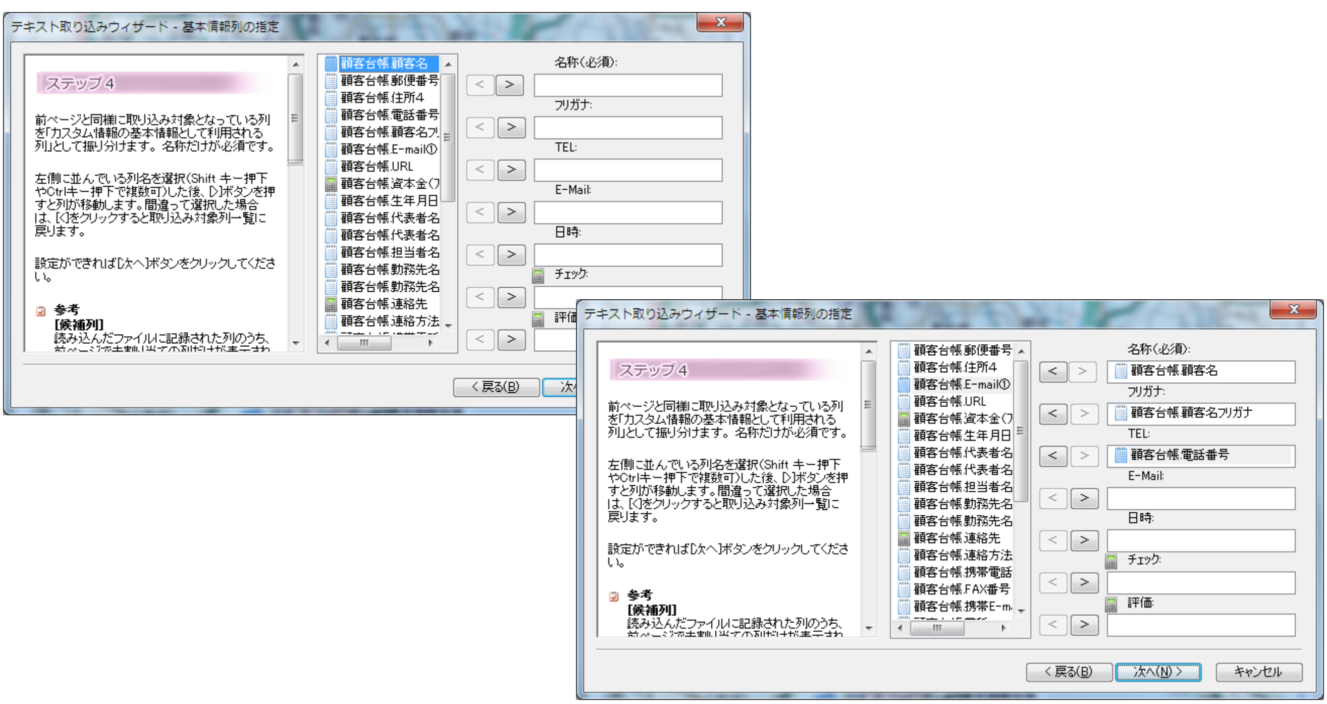


⑥［ステップ3］は、表示位置を特定する､「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。（「住所での例」です。）



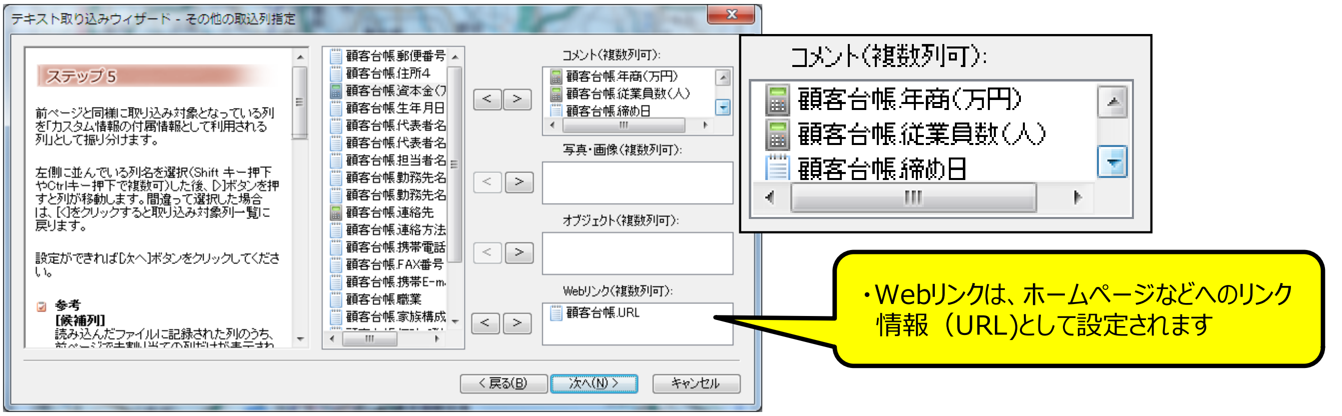
【 重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

⑦　［ステップ4］は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。

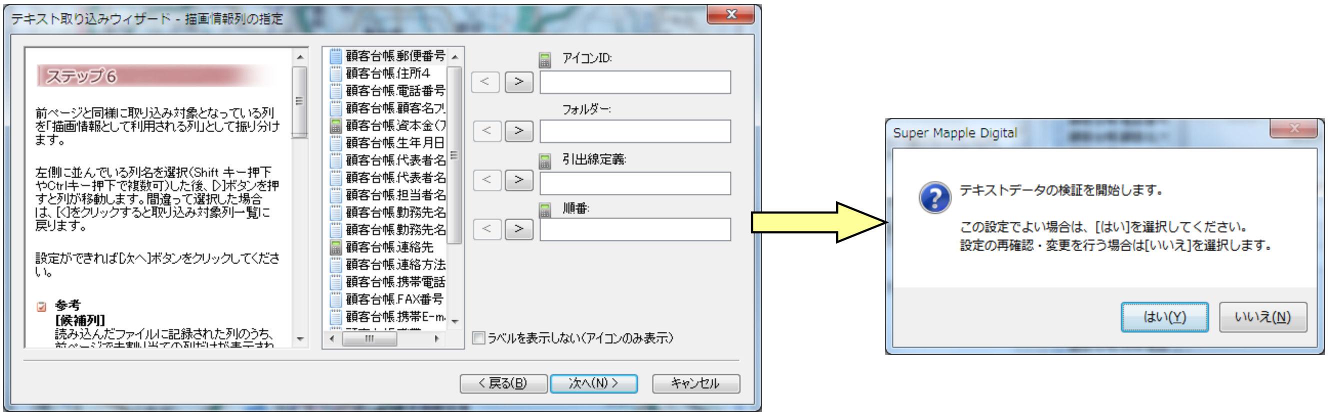


★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の 画面で「コメント」欄で取り込みます。

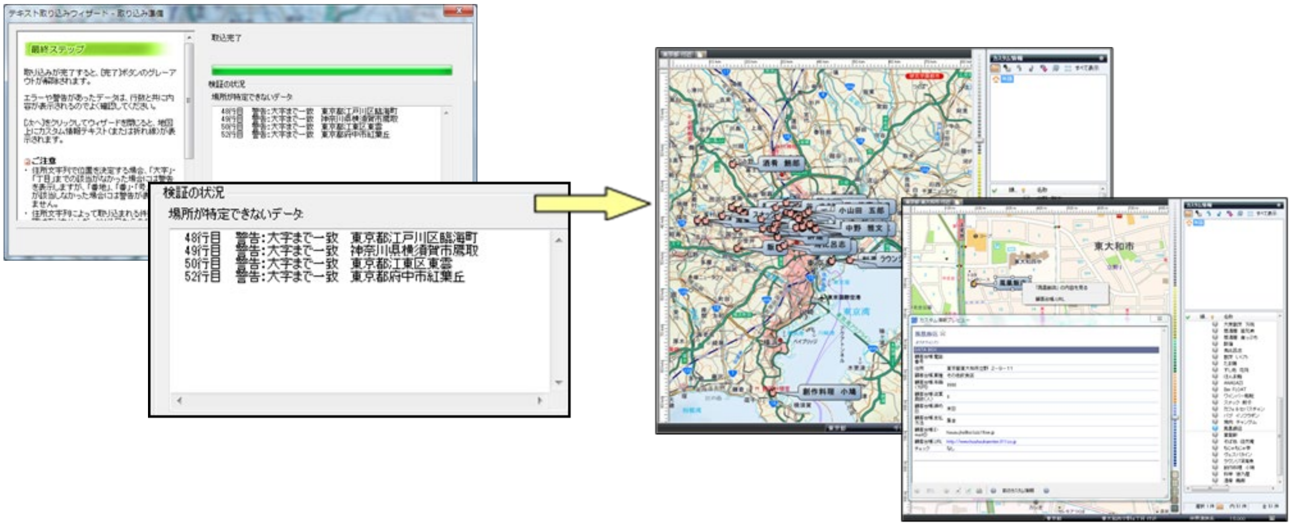
⑧［ステップ５］は、「取り込み」欄にない項目を「コメント」欄に取り込みます。複数の項目を取り込むことができます。



⑨［ステップ６］は、スーパーマップル・デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を、取り込む時に使用します。
「次へ」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。

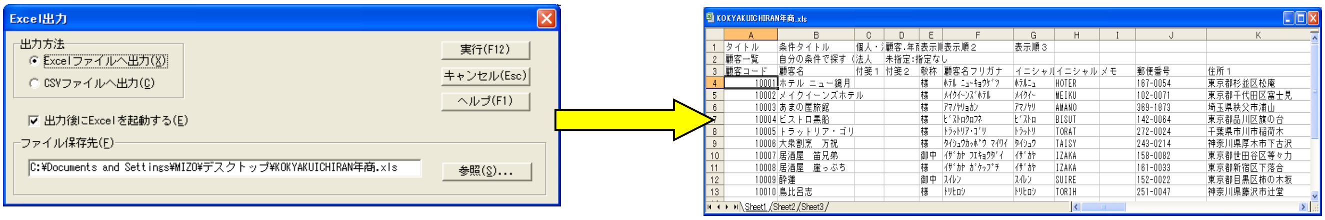


⑩［最終ステップ］は、取り込み後の状況を表示します。
・「大字」「市区町村」までしか一致しなかった場合には警告を表示します。
「番地」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。



B:顧客の年商を分布図で表示する方法

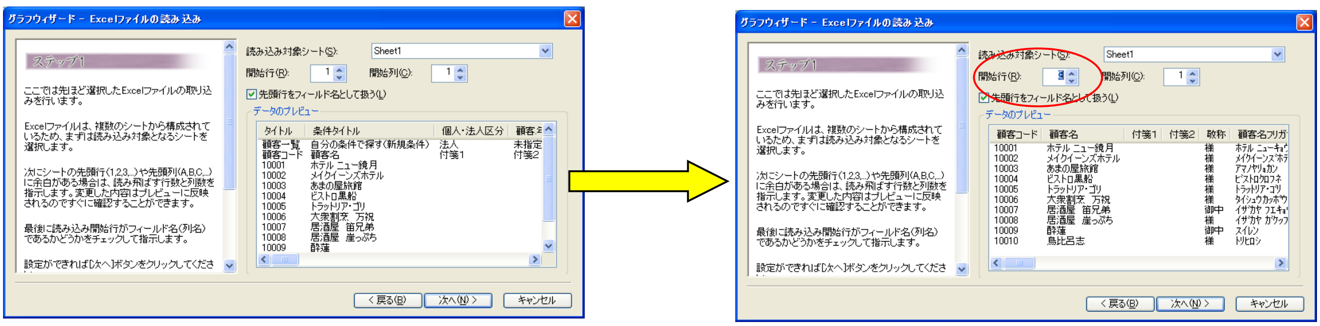
① グラフ表示の場合は「Excelファイルへ出力」で行います。



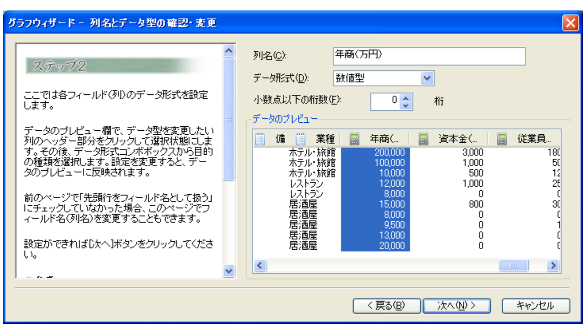
② スーパーマップルを起動し、[取込]タブの「分布図」をクリック、「出力した」ファイルを選択します。



③ 管理項目を【開始行】で設定します。項目を【開始行】の「３」に設定すると管理項目が整います。

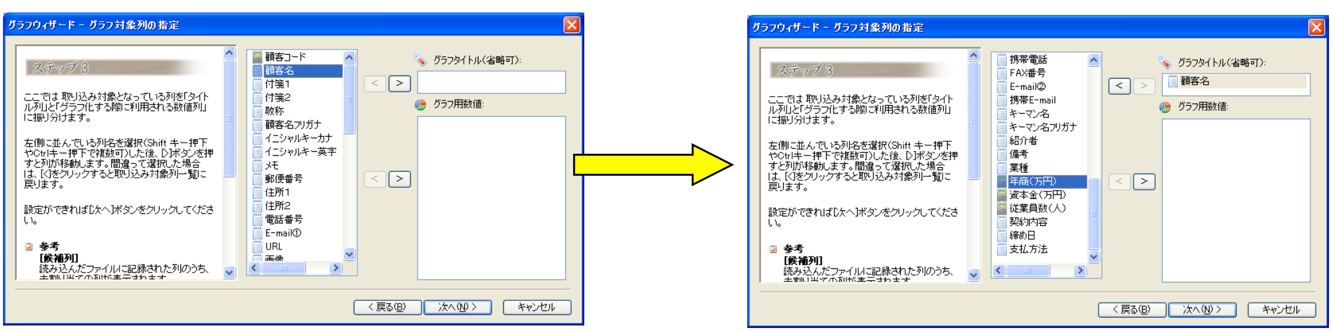


④ 「年商」をグラフにしますので「数値型」であるか、確認します。
ポイント：数値型の項目がグラフにできる項目です。

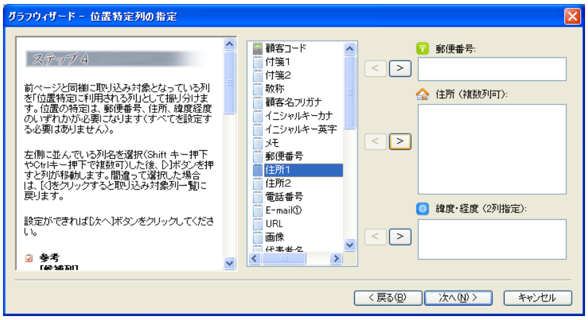


•ヒント：もしグラフにしたい数字が「テキスト型」の場合は、
で数値型に変更してください。

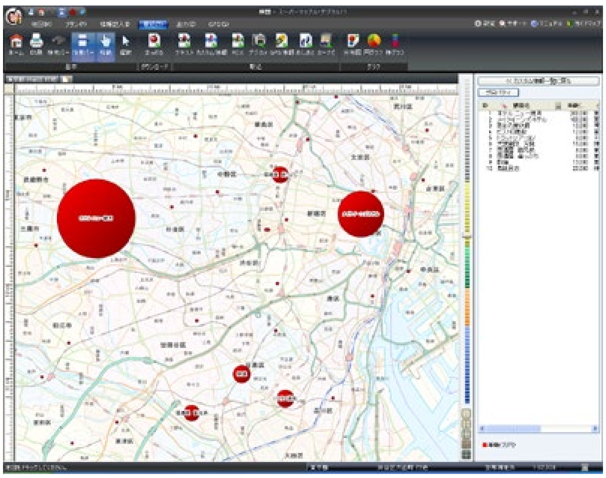
⑤ 「顧客名」を「グラフタイトル」に設定、「年商」を「グラフ用数値」に設定します。



⑥ 「住所1」を「住所」に設定し、画面の指示に従い操作します。



⑦ 年商の大きさを円の大きさで表示します。（表示する色は任意に変更可能です）
★「棒グラフ」で表示する場合は、『スーパーマップル・デジタル』の[取込]タブから「棒グラフ」を選択してください。



【参考】
・「顧客のクラス（ABC）分け分布」や「グラフを同時表示」する場合は ビジネス編 の ABC(クラス分け) 分析結果を表示する方法 を参照してください。

注意事項
製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。